

Let's Think!!

ZERO CARBON

— vol.5 —

最近、全国各地で取り組まれている、ごみ対策や脱炭素化。ニュースやインターネットで耳にした、目にする機会も増えました。では、この町に住む私たちにできることは何があるのでしょうか。このシリーズでは、ごみ対策や脱炭素化に関連した身近な話題をご紹介します。「ごみのこととか、脱炭素化とか…」みんなで楽しく考えてみましょう。

連載第5回目のテーマは「ごみ集積所の使い方」。何気なく使っていると思いますが、皆さんのごみ集積所の管理は、どのように行われているのでしょうか。今回は、毎日の生活に欠かせないごみ集積所の使い方について考えてみます。700以上の世帯で構成される宮代台地区の集積所の取り組みをご紹介します。

ごみ集積所のステキな使い方～一歩先のごみ出し～

● 宮代台集積所のこれまで ●

問 資源循環担当34・1111 内線292 (2-15)

平成25年ごろ



ブルーシートやネットの隙間から、カラスの被害が…



そこで…

平成29年ごろ



網で囲った集積所を自主制作!

現在



カラス被害もなくなり、衛生的にも使いやすい集積所に!



住民の方が、回収し忘れ防止や収集作業の時間短縮のために、ごみを種類ごとに分けて出しています。収集員への思いやりを感じます。

きれいな集積所は使い手もきれいに使おうという意識が生まれます。長年の試行錯誤の末に今の宮代台の形が作られました。

住民の皆さんの意識と行動の結果、きれいな集積所が保たれています。

宮代台のごみ対策に
長年関わる
宮田さん



集積所の清掃当番で実際に使用しているファイルポーチ。その日の問題点や連絡事項などを記入するノートやごみの分別一覧などが入っています。

Let's Try!!

一歩先のごみ出し

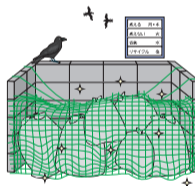
ごみ処理の大敵、水分!
生ごみは家庭で水切り・乾燥

匂いや害虫発生の防止、
運搬焼却などゴミ処理効率も大きく改善します。



ネットや蓋をきちんとかぶせて
カラス対策!

ネットなどをかぶせるひと手間で集積所をきれいに保てます。



ゴミを小さく圧縮し、集積所の
スペース確保・収集効率UP

隙間が大きくかさばる
プラスチック資源はまとめて圧縮する等の工夫で
体積を大幅に減らせます。



「ごみは世の中を循環・流通する“資源”だと見ることで、住民の意識が変わっていく」 宮代台の皆さん

出されたごみが、リサイクルされ、再び社会や家庭で使われるという、大きなリサイクルの輪をつないでいる場所が、ごみ集積所です。その輪が途切れることなく続いていくかどうかは、一人ひとりのごみの出し方と、集積所の使い方決まります。

みんなで意識すれば、リサイクルの輪は大きく成長し、回り続けることができます。正しいごみ出しから、さらに一歩先へ。皆さんのご協力をお願いします。



ご協力いただいた
宮代台自治会の皆さん

左から、前畑さん(自治会長)、宮田さん(ごみ対策部顧問)、室井さん(令和4年度ごみ対策部長)、中村さん(令和3年度ごみ対策部長)

移動スーパーでつながりづくり!

申問 高齢者支援担当 34・1111 内線382、383 (1-6)

移動販売 実施事業者募集!

町が選定した場所で移動販売ができる事業者を募集します。

申込 6月20日(月)までに電話又は窓口
参加条件

- ・原則、食料品を扱う事業者であること
- ・原則、町内に事業所があること
- ・移動販売の営業許可を保健所から取得している、または取得する見込みであること
- ・宮代町と見守り支援に関する協定を締結すること
- ・販売場所を毎週同じ曜日・時間帯に巡回し、販売を行うこと



地域の高齢化が進む中、生きがいを持って暮らせるよう助け合う地域(コミュニティ)を目指しています。人と人がつながるきっかけとして令和4年9月頃を目標に、地区集会所や公共施設、公園等で移動販売を行います。

